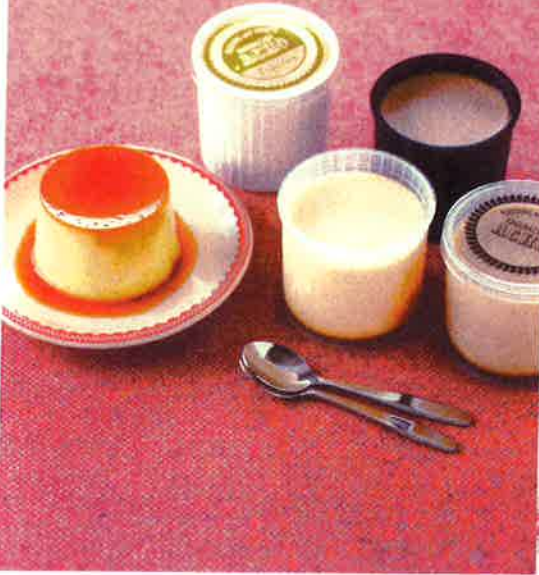


ACHO Kagurazakaの
プリン



ATLIER KOHTAの
神楽坂チーズケーキ



HACCIの
HACCIハニーコラーゲン



コパンの
プチ神楽坂シュークリーム



切り取り
保存版

おいしくってセンスのいい おつかいものは広報が知っている

美人広報の セレブな手土産

手土産選びは楽しくも悩ましいミッション。
相手が喜んでくれて、しかもおいしく、
センスがいいと言われる逸品を知っておきたい！
会社の顔である広報だからこそ知っている、
とっておきのセレクトを教えてくださいませんか。
今回は不動産開発&人材派遣会社の広報さんです。

構成・取材 文/北條芽以 撮影/棚原スズ

株式会社ディア・ライフ
広報室長

中島玲子さん

Vol. 97



山梨県南アルプス市生まれ。青山学院大学文学部を卒業後、大手ウエディング事務会社に入社。美容コンシェルジュとして働いたのち、2014年7月に株式会社ディア・ライフに転職。人事・総務担当として入社。2015年4月より広報も兼任する。同年8月には栄冠一獲上場を果たし、現在も、1人4役の多忙な毎日。

上場したばかりの会社で
できたばかりの広報室。
社長をサポートして
もっと手土産の幅を広げたい。

健康的な笑顔が魅力的なディアライフの中島玲子さん。しかし、実は日々ととても多忙な毎日を送っています。「最初は1人で秘書、人事、総務と3つの担当として入社しましたが、それだけでも結構な仕事量だったのが、今年4月に広報が新設されました。今4月1人！ ついに4役になりました。8月に上場を控えていたためなんです。それはそれは絶対な忙しさでした。ディアライフはマンションやビルなどの不動産を造り、業者に販売するという不動産開発業と、マンションギャラリーに案内担当を派遣する、人材派遣の2つの顔を持った会社。上場するに当たっては、この个性的なスタイルの企業を世間にお披露出するために、広報の中島さんが大活躍したそうです。「社会人経験がそんなにあったわけではないので、秘書キャリアの長い上司の奥様に聞きながら勉強しましたね。オフィスでは広報として外の方とやりとりしながら社員の細かなケア、夜は社長の会食に同行することもありますが、社長の会食には秘書が用意する手土産がつきもの、と思いきや……」

「社長は自由人で、会社のそばにある靖国神社の交通安全ステッカーを自分でフレセントしたりしていますね。ただ、女性が多い会社の手土産を渡すときは私の出番です」

「神楽坂は本当にステキな街で、どんなシチュエーションにも対応できる手土産を手に入れることができます。趣味と実益を兼ねて甘い、新ネタを試してみるのには至福の時間かもしれません」というわけで、今回は神楽坂が誇る新旧スイーツが勢ぞろい。こちらを参考に手土産クルーとしてみてね。



スライシッシュHACCIは小瓶をエアーシールドパックで密封し、フタに付いたシリコン製のフタを開けると、新鮮なHACCIがそのまま出てきます。手土産ボックスには、コパンのシュークリームがたっぷり入っている。ATLIER KOHTAの神楽坂シューケーキもおすすめです。